

|  |           |      |     |
|--|-----------|------|-----|
| 授業科目名  | 社会福祉調査の基礎 | 単位数  | 2単位 |
| 担当教員名  | 堀越由紀子     | 担当形態 | 単独  |
| 実務内容<br>(実務家教員の場合)   |           |      |     |
| 「学位授与の方針」との関係  |           |      |     |
| DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）<br>DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）   |           |      |     |
| 授業のテーマ及び到達目標   |           |      |     |
| (1) 社会福祉調査の意義・目的を理解する。<br>(2) 社会福祉の発展と社会福祉調査の連関を理解する。<br>(3) 社会福祉調査における倫理原則、個人情報保護について理解する。<br>(4) 量的調査、質的調査、量・質のミックスメソッドについて理解する。<br>(5) ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する。  |           |      |     |
| 授業の概要  |           |      |     |
| 社会福祉においては、人々のニーズを把握するためのデータ収集、潜在的ニーズの発見へ向けての調査、サービスの効果測定など、実証的、科学的な分析力や問題解決能力が欠かせなくなっている。また、社会福祉学の理論や制度構築の点からも、社会福祉調査は重要な位置を占めるようになってきている。本科目では、社会福祉調査の意義と目的をふまえ、調査の倫理原則、調査の種類と方法を学習する。  |           |      |     |
| 授業計画   |           |      |     |
| 第1回：社会福祉調査の意義と目的<br>第2回：社会福祉制度と社会福祉調査<br>第3回：社会福祉の発展と社会福祉調査の連関<br>第4回：社会福祉調査における倫理原則と個人情報保護<br>第5回：調査方法の種類と概要<br>第6回：量的調査の方法① 種類・方法<br>第7回：量的調査の方法② アンケート調査の方法<br>第8回：量的調査の方法③ 量的データの集計と分析<br>第9回：質的調査の方法① 種類・方法<br>第10回：質的調査の方法② インタビュー調査の方法<br>第11回：質的調査の方法③ 質的データの整理と分析<br>第12回：ソーシャルワークにおける評価① 実践の評価の意義と目的<br>第13回：ソーシャルワークにおける評価② 実践の評価の方法<br>第14回：ソーシャルワークにおける評価③ プログラムの評価<br>第15回：まとめ<br>定期試験 |           |      |     |
| スクーリングでの学修   |           |      |     |
| (1) 調査の目的に合致した調査方法の選択<br>(2) 調査計画の作成（含、倫理的配慮）<br>(3) サンプルデータを用いた分析の実践① 量的データ<br>(4) サンプルデータを用いた分析の実践② 質的データ  |           |      |     |
| テキスト   |           |      |     |
| 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編（2021）『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎』中央法規出版、978-4-8058-8235-1  |           |      |     |
| 参考書・参考資料等  |           |      |     |
| (1) 三井さよ・三谷はるよ他編（2023）『はじめての社会調査』世界思想社、978-4790717775<br>(2) 笠原千絵・永田祐他編（2013）『地域の〈実践〉を変える社会福祉調査入門』春秋社、978-4393333297   |           |      |     |
| 学生に対する評価   |           |      |     |
| スクーリング評価（25％）、レポート評価（25％）、科目修得試験（50％）  |           |      |     |